

公表: 令和7年3月31日
 総数: 25名 (100%)
 事業所名: (福)上田明照会 蓮の音こども園

	チェック項目	はい	いいえ	NA	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	22	3	0	・クラスを1つ増やしたことで、1人あたりのスペースが広がった。 ・グルーピングや空き部屋利用等心地よい空間作りを工夫している。	・クラスを越えた活動や、グルーピングを行い、こどもが居心地よく活動できるよう工夫していく。
	② 職員の配置数は適切であるか	18	7	0	・当日の出席や個別状況に応じて、職員配置を調整し、安全に支援ができるようにしている。 ・個別対応時は、他職員が全体をサポートし、お互いをフォローし合っている。	・法令で定められている配置数は満たしている。個別対応が必要な時には、職員間で調整し、クラスを越えて皆でフォローし合うことを定着させていく。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	24	1	0	・個別に応じた視覚支援を活用し、動きやすさと見通しがもてるようにしている。 ・階段の移動には十分配慮している。 ・職員の速やかな情報共有に努めている。	・生活しやすい環境を整え、子どもたちが安全に自ら行動できる空間を考えていく。 ・職員が速やかに情報共有を行い、危険に対する意識を高めていく。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	25	0	0	・環境整備や衛生管理を行っている。 ・子どもたちの生活の動線、安心スペースなどを工夫している。	・基本的な感染対策と衛生管理を実施し、子どもたちがわかりやすい生活空間と安心安全な環境整備に努める。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	25	0	0	・クラス会議やパート会議も活用し、全職員が参画できるようにしている。	・定期的な職員会議の開催やパート職員会議、クラス会議、リーダー会議等を行い情報共有をしていく。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	25	0	0	・改善すべき点については、課題の抽出及び目標達成計画に沿って、取り組みを具体化して進めている。	・過去との比較や今後を見据えながら、具体的な業務改善に取り組み、評価を行いながら進めていく。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	25	0	0	・評価結果の公表と、結果を踏まえた改善目標の共有に努めている。	・法人ホームページに掲載する。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	24	1	0	・昨年度、第三者評価の受審を行った。 ・結果を受けて取り組みを行っている。	・中長期的な計画とその運用を形にしていける。 ・業務の効率化を具体的に進め、時間の管理を意識していく。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	25	0	0	・研修の情報共有は常に行っている。専門研修や経験年数に応じた研修等は個別に提案している。	・積極的に研修に参加し、職員間で情報共有する。 ・年間計画に基づき研修を企画し、支援の向上に努める。
適切な支援	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	25	0	0	・アセスメントシートを丁寧に行い、児童発達支援計画作成のための会議を開催し、児童発達支援管理責任者を中心に作成している。	・アセスメントを基に、具体的支援に連動した児童発達支援計画の作成に努める。 ・計画作成のための会議では多種職が参画し、複数の視点で作成する。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	25	0	0	・主には園独自のアセスメントシートや遠城寺式乳幼児分析的発達検査、必要に応じて感覚からのアセスメントシート(JSI-R)を使用している。標準化されたアセスメントシートとしては、新版K式発達検査を使用している。	・検査について学習を深め、正しく読み取り支援に活かせるようにしていく。 ・客観的な評価を基に支援ができるようにする。

の 提 供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	25	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントシートと児童発達支援ガイドラインを基に計画を作成し、保護者にはガイドラインのダイジェスト版を作成して説明を行っている。 ・5領域を網羅した発達支援・家族支援・地域支援のそれぞれの項目から必要な目標を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の様子やご家族の願いを基に、5領域に基づいた根拠のある具体的な支援を組み立てていく。 ・計画書の内容についても、ご家族が読みやすく、分かりやすい内容で立案し、丁寧に説明していく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	25	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援計画に基づき、月目標を設定し、所見を通して家庭と共有できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みの評価を速やかに行い、分かりやすい内容でご家庭と共有できるよう取り組んでいく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	25	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤職員が中心となり立案しているが、クラス会議においても幅広い意見が取り入れられるよう努めている。 ・週案により園全体で調整をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス会議を活用しながら、皆が参画し、計画的に立案していく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	24	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・目的のある継続したプログラムは、子どもたちの見通しや自信、意欲に繋がるため、様々な活動と共に大切にしている。 ・グループ分けやクラス集団としての活動を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの意志を尊重し、興味関心を引き出す工夫と、隣接する保育園との活動の機会を積極的に取り入れていく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	25	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別対応が必要な場合は、安心できるよう小集団の活動を取り入れ、個々の成長を見ながら集団活動への参加ができるよう調整している。 ・児童発達支援計画に個別と集団の目的を記載し作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる関係性を基に、個々の様子やクラス全体の調整を図りながら柔軟に対応をしていく。 ・個別対応だけでなく、集団に参加する機会とチャンスを逃さないよう、タイムリーな支援を行う。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	25	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・開始前、スケジュールや役割の確認を行っている。不在の職員にはボードやLINE等で速やかに伝達している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き継続し、丁寧に準備をしていく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	25	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・良かった点や改善点の共有に努めている。又、各種会議により園全体で共有できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の幅広い意見が共有できるようにする。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	25	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・法人共有のソフトを使用し、毎日の記録を行っている。 ・月ごとの目標に対しての評価を所見としてまとめ、それを基に翌月の目標を立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース記録や所見の質の向上に努め、児童発達支援計画と連動しながら、適切に支援していく。
	20	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	25	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なモニタリングを実施し、計画の評価をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングで把握された内容を職員間で共有し、適正に対応していく。 ・相談支援とも共有・連携していく。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	25	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者・児童発達支援管理責任者を中心に会議に参加し、関係機関との連携を図り職員への周知に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の内容により、参加者の選任を行い、効果的な会議になるようにしていく。
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	25	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・電話連絡や支援会議等において、子どもの様子を丁寧に伝え、共有できるようにしている。 ・口頭では伝わりづらい場合などは、日常の様子を動画等で伝えることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連携すべき関係者と適宜共有し、子どもや家族の安心・安全な生活が実現できるようにする。 	
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	25	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて受診同行や定期的な支援会議を開催し、状況の確認を行っている。 ・地域関係者との定期的な会議を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との情報共有に努め、地域で過ごす体制についても考えていく。 	

関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	25	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示書、看護サマリーを元に対応している。看護師と連携しながら連絡体制を整えている。 ・確認が必要な場合は、速やかに連絡している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院からの情報提供を基に、看護師と共に受入れ体制を整え、支援内容についても安全に過ごせるよう配慮していく。
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	25	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園等の見学に同行し体験ができるよう調整している。 ・移行先の保育園等からも参観、移行支援会議に参加してもらい、支援内容を確認している。 ・保護者の了解を得て情報提供書を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移行準備として、様々な体験の機会を確保し、新しい環境への適応が図れるよう準備していく。
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	25	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・学校見学に同行し、体験ができるよう調整している。 ・学校からも参観、移行支援会議に参加してもらい、支援内容を確認している。 ・保護者の了解を得て情報提供書(プレ支援シート等)を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学や体験を通してイメージが持てるよう調整を行っていく。 ・移行支援会議によりスムーズな移行を支援する。
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	25	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所からの研修を受け入れ、カンファレンスを行う場がある。 ・研修に参加する機会がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種必要な研修等に多くの職員が参加し、支援の質の向上に努める。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	24	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接する保育園と、遊びのスペースを共有したり、活動と一緒にいたり、日常的に関わり合うことができている。 ・両園の職員が交流会として情報共有しながら、インクルーシブに向けての取り組みを行っている。 ・地域の保育園との交流は、就学や移行を視野に入れた交流を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な自由交流や段階的に目的のある関わりを工夫し、お互いの理解を深める。 ・地域の保育園等とも連携できる機会を増やしていく。
	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	24	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者・児発管中心に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会状況の変化に対応できるような情報収集をし、関係機関との連携に努める。 ・その情報を職員にも伝え、方向性を共有する。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	25	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の様子は連絡帳に丁寧に記録するようにし、送迎時は直接の対話を心がけている。必要に応じて適宜面談を設定している。 ・月ごとの所見を作成し課題や手立てを家族と共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き丁寧な情報共有に努める。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	25	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・シリーズでペアレントトレーニングの学習会を行っている。 ・年間計画に基づき、保護者向け学習会や参観日等を活用し、子育てについての情報など発信している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングや学習会等に多くの家族が参加できるよう、内容や開催日程を工夫していく。
	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	25	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前、家庭訪問にて個別の説明の機会を作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい書類と説明を心がけていく。
	㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	25	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・6ヶ月に1度(新規利用児は中間評価も行う)作成する個別支援計画については、その都度個別面談を行い、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な説明を行い、ご家族の同意のもと支援を提供していく。
㉚	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	25	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・担任を中心に定期的に面談の機会をもっている。状況に応じて管理者等も交えて対応している。 ・必要に応じて随時個別面談を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の思いを傾聴し寄り添うと共に、必要に応じて具体策を提案していく。随時、相談ができる体制を整える。 	

保護者への説明責任等	⑳	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	25	0	0	・保護者会や学習会、行事等により保護者同士がリラックスして参加し、繋がるよう努めている。	・保護者同士の連携が積極的に図れるよう支援していく。
	㉑	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	25	0	0	・要望等に対しては、迅速丁寧な対応に努めている。 ・日頃のやり取りで、連絡帳に相談内容が記載される事も多く、速やかに対応ができるよう心がけている。	・本人、ご家族の思いを丁寧に聞き、迅速、丁寧な説明と対応に努めている。
	㉒	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	25	0	0	・クラス便りを通じて、日頃の支援内容の目的等も踏まえ発信している。適宜、園からのお便りやオクレンジャーのシステムを活用し伝達している。	・連絡事項等、早めにお便りを発信できるようにする。
	㉓	個人情報の取扱いに十分注意しているか	25	0	0	・個人情報の取り扱いの留意点について、全員が意識できるよう働きかけている。	・法令遵守等、情報管理について適切に対処できるようにする。
	㉔	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	25	0	0	・面談内容をイラストや図などを交えて伝える、動画を使用する等、わかりやすい方法を心掛けている。	・わかりやすかった方法を職員間で共有しながら、相手に合ったコミュニケーションをとる。
	㉕	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	25	0	0	・定期的な活動にボランティアの協力を得ている。	・園を知っていただく機会を広げていく。
非常時等の対応	㉖	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	25	0	0	・マニュアルは家庭配布用しおりに記載している。 ・計画的な訓練を行い、実施後の反省を共有して見直しを行っている。 ・緊急時の対応については、オクレンジャーを活用している。	・マニュアル等は保護者会等の機会を通じて、周知していく。 ・訓練の様子は連絡帳やブログで発信していく。
	㉗	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	25	0	0	・火災・地震・風水被害等、様々な緊急事態に備え訓練を行っている。	・月に1回の訓練を行い、その都度振り返りを行い、緊急事態に備えていく。必要な備品についても定期的に確認していく。
	㉘	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	25	0	0	・健康カードの項目により生育歴等の経過を確認できるようにしている。適宜、看護師の面談を行い、服薬の管理や服用できるようサポートしている。	・看護師を中心に個々の健康状態を把握し、健康面の管理を含め対応していく。
	㉙	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	25	0	0	・診断書の提出により職員間で情報を共有し、手順に従って、安全に食事の提供をしている。	・管理栄養士・看護師と情報共有し除去食品の把握をし、代替食を提供するなど、安全管理に努め対応する。
	㉚	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	25	0	0	・報告書を基に検証を行っている。	・全職員で共有し、防止に努めている。
	㉛	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	25	0	0	・定期的に自己チェック、事例検証、基礎知識の学習などの研修を行っている。	・法人内に虐待防止委員会を設置し、研修を行っている。 ・必要な関係機関と連携し、研修を重ねていく。
	㉜	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	25	0	0	・現在そのような事案はないが、医師の助言により身体拘束が必要な場合は、子どもの様子を十分把握し、保護者の同意の下、話し合いを重ね、児童発達支援計画に記載する。	・やむを得ず身体拘束が必要な場合は、保護者と十分話し合いを重ね、個別支援計画に明記し、安全な支援に努めていく。 ・身体拘束委員会を設置し、日々の支援の検証を行う。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:令和 7年 3月 31日

事業所名(福)上田明照会 蓮の音こども園 保護者等数(児童数) 40名 回収数 33名 割合 82.5 %

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	29	3	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・少し教室が狭く感じる。 ・サーキット遊び等をするのが狭いと感じる。感覚統合も器具が多く、スイングをしているとぶつかりそう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用できる時間や人数を調整しながら、安全に遊べるようにしています。今後も環境調整を行っていきます。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	31	2	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・国の配置基準を満たしています。 ・お子さんの欠席状況により職員配置を調整することがあります。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	29	1	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の顔写真や名前が書いてありわかりやすい空間です。 ・1階は動きやすいが2階への移動は何かあった時に不便が生じると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しがもてるよう、個々に応じた環境調整やコミュニケーション手段を活用しています。 ・階段での移動は、安全に行えるよう立ち位置や介助に配慮します。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	31	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・一度に子どもが集中して入ると、狭いと感じる。 ・使用したオムツが部屋にあり、匂いがきつい時がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、混まない工夫等の環境設定をしていきます。 ・使用済み紙パンツの保管はトイレ、トイレ用冷蔵庫にしています。清潔を保つよう徹底していきます。
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	32	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがたい。 ・地域から転園してきた身とすると、個別の計画は本当にありがたく感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、適切なアセスメントと、園とご家庭が共有できる支援計画の作成に努めます。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	32	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的にわかりやすい。 ・子のために色々な先生が話し合ってくれたり、モニタリングでもとても丁寧に寄り添ってもらえ、こんなにうれしかったらと驚いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5領域と家族支援、地域支援を踏まえた計画を作成しています。 ・ご家族の思いやお子さんの発達に合わせた具体的な目標を設定し、分かりやすい計画の作成に努めます。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	31	0	0	2		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援計画が月々の目標や実際の支援に連動し、所見として評価を行っています。 ・お子さんの強みを生かした支援を行っています。
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	30	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の色々な遊び、トレーニングをしていただき参考になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画に基づき、様々な活動が体験できるように計画しています。具体的にはクラス便りの月予定表に記載しています。 ・子どもの思いを尊重し、個々の力が発揮できるよう、創意工夫に努めます。

	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	28	2	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・一定のこども以外にもあるとよい。 ・まだ交流したとは聞いていないのでこれからかな?と思う。できるならそういう機会があってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接する甘露保育園との交流は、クラス、廊下、園庭での自由遊び、リミックや運動遊び等の日常場面で行っています。 ・どのお子さんも幅広い体験ができるよう、柔軟に対応していきます。 ・両園の職員や子どもたちが、お互いを理解し合い、関わり合いを推し進めていけるように努めていきます。 	
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	31	1	1	0		<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧で分かりやすい説明を心がけます。 	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	33	0	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・課題と具体的な取り組みが分かりやすい計画を作成し、わかりやく伝えるよう努めます。 	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	32	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しいペアトレです。勉強になります。 ・とても参考になりありがたい。保護者同士の交流もできて嬉しいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して学習会やペアトレ、クラス懇談会、きょうだい児会、随時面談等を行っています。 	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができているか	33	0	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・連絡ノートや送迎時のやり取り、個別面談等は、ご家庭と共有できる大切な時間であると考えています。今後も丁寧なコミュニケーションに努めます。 	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	31	1	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・色々アドバイスを聞いて助かっている。 ・もう少し機会が多くても良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングや定期的な面談以外にも、随時、面談を行っています。更に面談がしやすい体制を整えていきます。 	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	31	1	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会はあるが、参加する方としない方に分かれている印象。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の保護者会以外にも、法人の親の会があり、先輩家族と話す場があります。活動の内容を知っていただくよう、保護者の方とも連携してきます。 	

	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	32	0	0	1	・親身になって相談にのってくださり感謝しています。	・要望や面談等に配慮し、迅速、かつ適切な対応に努めます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	32	1	0	0		・記載方法や面談時間、場所等、個々に配慮した対応に努めます。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	32	0	1	0	・ホームページの掲載頻度がもう少し多いと、こどもたちの様子を知ることができありがたい。	・クラス便りや文書を通じてお伝えしています。緊急時連絡網等は、オクレンジャーで一斉配信をしています。 ・ホームページやブログは定期的に更新されていますのでご覧ください。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	33	0	0	0		・個人情報の取り扱いについては職員で認識を深め、適切な管理・対応をしています。
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	32	0	1	0	・定期的に訓練している。	・各種マニュアルは整備しています。各家庭配布の発達のしおりに記載しています。 ・その他必要に応じて随時、お知らせをしてきました。防犯訓練においては年2回実施し、お便りでご報告をさせていただきました。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	32	0	1	0		・年間計画に基づいて、火災や地震、不審者等を想定し各種訓練を行っています。 ・定期的に消防署や生活安全課の指導を受けて訓練を行っています。 ・今後、引き渡し訓練などを計画していきます。
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	31	1	1	0	・毎日楽しそうにニコニコ通っています。とても楽しみな様子です。 ・花丸をつけたくらいです。こんなに楽しく通えるところがあるんだと、とても嬉しいです。 ・「保育園いや」と言うことが多い。 (多分家にいる方が、本人的には楽しいのだと思う)	・お子さんのペースで、安心して楽しく過ごせるよう、また、ご家族の皆様が安心して送り出せるよう、更なる創意工夫に努めていきます。

満足度								
	②③	事業所の支援に満足しているか	33	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・大満足です。 ・満点です。こどもにとってこれ以上の園はないです。感謝しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の皆様には、日頃より園の運営にご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございます。アンケートでは、温かいお言葉を頂戴し、心より感謝申し上げます。 ・これからも、全ての子どもたちの意思やニーズが大事にされ、地域の中で共に過ごす「こどもまんなか」「インクルーシブ」な社会の実現に向けて、地域と連携しながら、児童発達支援センターの役割を果たしていきます。 ・ご本人とご家族の思いに伴走しながら、丁寧で誠実な対応に努めてまいります。

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	蓮の音こども園		
○保護者評価実施期間	R6年12月1日		～ R6年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	R6年12月1日		～ R6年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	R6年12月1日		～ R6年12月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	6件	(回答者数) 6件
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月1日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	実際にこどもと関わったり行動を観察したりしながら、行動の理由や発達段階、発達特性を踏まえた支援を提供しています。	・発達支援や保育、インクルーシブ等の研修や勉強会などを行いながら、支援の質の向上に努めています。 ・行動観察や直接支援を行ったり、フォーマルなアセスメントツールを利用したりしながら、チームアプローチを行っています。	引き続き、資質向上のための取り組みを行っていきます。訪問支援員拡大のために、園内でも情報共有を行っていきます。
2	保護者の困り感や前回の訪問後の様子を丁寧に聞き、次の具体的手立てを共有しています。	・訪問後には必ずご家族を交えてカンファレンスを行い、園の様子を共有したり、成長を確認したりする場を持っています。その際、家での困り感などがあれば、具体的にお話いただき、それについての手立ても一緒に考えています。	現在実施している支援を、引き続き丁寧にやっていきます。ご家族に合わせた情報共有の方法も工夫していきます。
3	訪問先施設や担任の方針や意向を丁寧に聞き、対象児のみならず、他児にとっても過ごしやすい環境づくりやクラスづくりのための具体的な方法、取り入れやすい方法を提案しています。	・職員は「訪問先施設の方針を大切に」という共通認識のもと、お子さんと実際に関わっている先生方の声を聞くことを大切にしています。 ・支援を提案するときは、具体物を見せたり、実際にやっているところを見てもらったりし、取り入れられそうかどうかを一緒に考えています。	現在実施している支援を引き続き丁寧にやっていきます。現場の先生方が成功体験をし、園全体に支援が共有されていくよう、行政や関係機関とも連携していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先施設に対して提案している支援グッズ(視覚支援ツールや遊び道具)に関して「わからない」という回答を一定数いただいています。	保育現場で提案していることも多いため、カンファレンスの中で共有されなかったことがあるかもしれません。集団生活において、お子さんがどんなことに困っていて、どんな手立てがあると良いか、保護者の方にもイメージしやすいよう説明する必要があると考えます。	お子さんの集団の場での様子を保護者の方が具体的にイメージし、どんな手立てで解決していくか、どんな姿を目指していくかを、カンファレンスにて丁寧に共有していきます。訪問日以外にも、支援グッズを使った様子が担任からも共有されるよう、訪問先施設とも連携していきます。
2	個人情報の取り扱いや安全計画に関して、「わからない」という回答を一定数いただいています。	説明が不十分だったかもしれません。説明時の内容が多く、わかりにくいことも予想されます。	訪問支援に関わるスタッフ間で、説明の仕方や内容について共通認識が持てるよう、情報交換の機会を持ちます。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		蓮の音こども園		公表日 令和7年3月31日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制・ 整備 運 営・ 体	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3	0	訪問先施設の状況や、子の発達の段階に応じて視覚支援を提案している。	保育の場面で必要なもの(視覚支援カードや遊びアイテムなど)がある場合は、園から持参して実際に使用し、アイデアの一つとして提案する。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0	適切に職員を配置している。	利用希望の方に訪問できるよう、職員体制をくむ。
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0	事前のアセスメントを基に目標設定をしており、訪問先施設にも確認してもらい、共に振り返りを行っている。	引き続き効率的かつ丁寧な話し合いを行っていく。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	アンケートを実施し、改善に努めている。	わかりにくいところ等、保護者の声をききながら、改善に努めていく。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	面談の機会がある。それ以外にも都度話し合い、次に繋げる機会がある。	今後も訪問後の情報共有、面談などを行い、改善点を探りながら進めていく。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	0	昨年度第三者評価を受審した。法人全体で改善に取り組んでいる。	法人の計画ともリンクさせながら、計画・評価・改善に向けた取り組みが定着するよう努める。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	児発と共通に、職員や職歴に合った様々な研修の機会がある。	引き続き、年間計画に基づき法人内外の研修に参加しながら、自己研鑽と学びの共有をしていく。
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3	0	家庭訪問や園訪問を基に、事前アセスメントを行い、家族や園の思い、状況を確認した上で作成している。	引き続きおきさんとご家族を丁寧にアセスメントしながら計画を作成していく。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	児発管以外にも、管理者、訪問支援員、訪問先施設と確認し合いながら作成している。	複数の職員の視点で確認し合いながら作成する。職員は主体的に発言できるように努める。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3	0	担任、訪問先施設の意向を丁寧に聞きながら作成している。	引き続き、訪問先施設との連携を図りながら、支援方針や目標を確認していく。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	訪問時、保護者を含めたカンファレンスを行い、支援方法について話し合っている。	引き続き、根拠ある支援に努める。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	発達検査結果、行動観察も踏まえてアセスメントしている。	発達検査や行動観察等フォーマルとインフォーマルなアセスメントを組み合わせる多角的な視点でアセスメントしていく。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0	ガイドラインを踏まえて、具体的に設定するようにしている。出来る限り具体的に、訪問先の状況に合わせて可能な支援方法を提案するようにしている。	国からの方針を踏まえ、より具体的な支援内容を検討していく。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	計画は訪問先、保護者、行政担当者等と共有し、計画に沿った支援を行っている。	引き続き丁寧な共有と、同じ方向を向いた支援に努めていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	場面ごとに合わせて都度気付いたことを伝えている。時には直接支援を行い、方法を見ていただく場合もある。担任から事前に様子を聞き取り、支援方法を説明しながら行い、カンファレンスで振り返っている。	今後も話し合いを密に行いながら、チームで支援していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0	訪問後には様子や支援内容を共有している。	引き続き、タイムリーな報告・連絡・相談を行っていく。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3	0	訪問先ごとに状況が異なるため、尊重した上で支援方法を提供しよう心掛けている。こどもを真ん中に考えるようにしている。	訪問先職員ともよく話をしながら、こどもを真ん中に、こどもの気持ちや行動の理由を考え、立ち直り方や集団に参加するためのスモールステップを考えていく。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3	0	5領域も意識し、客観的な記録に努めている。次の訪問で、前回の振り返りも行っている。	引き続き、わかりやすい記録に努め、次の手立てに活用していく。
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	保護者や訪問先施設と定期的に支援を確認しながら、評価、計画更新、終了を判断している。	職員間で共通認識を図りながら、保護者や訪問先施設の意向も確認し、皆の合意形成を図るよう努める。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	訪問先施設は、管理者、クラス担任、加配保育士が参加している。 連の音こども園は、管理者、児発管、訪問支援員が参加している。	引き続き、様子がよくわかる職員、それを園全体でフォローできるように管理者や主任などを交えながら会議を持つ。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0	モニタリングの際は、行政担当者や母子保健の担当者が参加し共有している。	引き続き、行政担当者等を交え、先に繋がる支援体制を構築していく。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	支援が引き継がれるよう、サポートブックを提案している。支援内容等を共有できるように、役割分担を確認している。	生活のステージが変わる時には、支援を要する場面とその方法がしっかり引き継がれるよう、関係者と共通理解をもちながら進めていく。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	3	0	児発と共通：年間計画に基づき、経験年数や職種に合った研修に参加し、学びを共有している。	自己研鑽に努めながら、その知識とスキルを地域に還元できるよう、努めていく。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	0	児発と共通：子ども・子育て会議等、や児童部会など、地域の質の向上のために積極的に参加している。	支援の必要なお子さんと家族のこともっと知っていただきながら、地域で安心して生活できるようにできることを考えていく。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	訪問日にはカンファレンスを行い、保護者と情報共有する場をもっている。	引き続き丁寧に実施していく。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0	児発と共通：ペアトレや学習会等を定期的に開催し、子育てに関する見通しや情報を発信できるよう努めている。	引き続き、保護者のニーズに合った企画を考え、保護者が広く参加できるよう努めていく。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	個別に実施し、丁寧な説明に努めている。	伝え方と反応について、職員間でも振り返りを行い、改善点は次に反映させていく。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3	0	訪問開始前に訪問先に出向き、説明を行い、共通認識のもと進められるよう努めている。	訪問支援を有効活用できるよう、両者に目的を丁寧に説明していく。具体的にイメージし、相談できるような説明を心掛ける。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	こどもの思いや保護者の意向を確認しながら作成している。内容を必ず確認し合うようにしている。	引き続き、思いや願いを丁寧にくみ取っていく。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3	0	丁寧な説明を心掛け、合意形成している。	引き続き、保護者がわかりやすい説明を行い、実態に合った計画を作成していく。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3	0	訪問時のカンファレンスで家庭の困り感を伺い、強いて状況に合わせて取り組めそうなことを提案している。	保護者が相談できる方法の周知と、タイムリーな対応に努める。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	0	児発と共通：連の音こども園全体として、保護者部会やきょうだい児会を開催し、繋がる場の提供と内容を工夫している。	引き続き、ニーズ調査と、参加したくなる内容を工夫していく。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	児発と共通：迅速な対応し、必要な改善を講じている。	引き続き迅速丁寧な対応をしていく。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0	児発と共通：ホームページにて、支援の内容やこどもたちの様子を発信している。	情報発信の内容の工夫、ホームページやインスタグラムの周知に努める。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	保護者に同意を取った上で、必要な情報を正当なルートでやり取りしている。	個人情報に関する留意点を、全職員が理解できるよう、折に触れて確認する場を設ける。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0	必要に応じて視覚的にわかりやすい書類に変更する等、配慮している。	引き続き、個々に合ったコミュニケーションツールを使いながらやり取りしていく。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3	0	訪問時以外にも電話等で連絡し合えるような体制を取っている。	引き続き、相談しやすい雰囲気づくりに努め、タイムリーに対応していく。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3	0	必ず行っている。特に担当とは密に話せるよう心掛けている。	引き続き、丁寧にやっていく。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3	0	必ず行っている。園での支援方法に加え、家での対応についても共有している。	引き続き、具体的な手立てを一緒に考えていく。スモールステップでどこを目指すか、向かう方向も共通認識が持てるようにする。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	保護者に同意を取ったことを共有した上で、必要な情報を正当なルートでやり取りしている。	必要な事項がタイムリーに共有されるよう、配慮のもと行う。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3	0	支援グッズや方法を具体的に伝え、実物や実践を見てもらうようにしている。	こどもだけでなく、訪問先施設の職員も成功体験として実感できるよう、共に考えていく。

非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0	児発と共通：各種マニュアルがあり、年間計画に基づき訓練なども行っている。災害時は訪問先施設の対応に合わせて行動する。	配慮事項や手順など確認し合い、周知していく。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	児発と共通：安全に関する各種マニュアルがあり、年間計画に基づき訓練なども行っている。訪問時は、訪問先施設の対応に合わせて行動する。	安全に過ごせるよう、必要な情報を共有していく。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0	児発と共通：ヒヤリハットの内容と対応、改善案などを共有し、安全な支援に繋げている。	引き続き、園全体で取り組んでいく。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	児発と共通：定期的に自己チェック、事例検証、基礎知識の学習などの研修を行っている。	引き続き、園全体で取り組み質の向上を目指す。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	0	児発と共通：現在そのような事案はないが、医師の助言により身体拘束が必要な場合は、子どもの様子を十分把握し、保護者の同意の下、話し合いを重ね、児童発達支援計画に記載する。	身体拘束適正化委員会を効果的に運用しながら、不適切な対応が生じない支援を行う。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 蓮の音こども園

公表日 令和7年3月31日

利用児童数 6名

回収数 5名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1	0	0	4	まだ始めたばかりでわからない。	訪問支援の際は、視覚支援やメモ、イラストを使ってやり取りする方法をご提案することがあります。具体的な使用方法をご家族と共有していきます。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	3	0	0	2		カンファレンスの際は、訪問先施設にて、場所を設定して下さっています。プライバシーが守られるよう、引き続き留意していきます。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	5	0	0	0		目的と方法を事前に丁寧に説明していきます。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	5	0	0	0		ご本人、ご家族の状況、訪問先施設との相談の上、決めています。
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	5	0	0	0		保育園、幼稚園、児童発達支援に詳しい職員を配置しています。児発管、管理者も適宜参加し、相談できる体制をとっています。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	5	0	0	0		複数人の目でアセスメントをしながら、お子さんの発達段階に合った支援を皆で考えていきます。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	4	1	0	0		訪問時の様子、訪問先からの情報と目標、ご家族の話をお聞きしながら作成しています。こどもの状況が変わった時には評価・更新をしていきます。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	5	0	0	0		事前アセスメントの際に、訪問先施設の意向や担任の思い、願いなどを丁寧に聞き、それを踏まえて計画を立てています。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	5	0	0	0		訪問先施設の方針を確認しながら、具体的かつ、できそうな内容を盛り込むようにしています。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	5	0	0	0		訪問した時は必ずカンファレンスを行い、支援の進捗状況を確認しています。やってみて合わなかったものは変更することもありますが、3者での共有に今後も努めていきます。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	5	0	0	0		引き続き、訪問先施設の方針や思い、スケジュール等を確認しながら支援していきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5	0	0	0		職員配置や運営、配慮点、利用料など、引き続き丁寧に説明を行っています。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5	0	0	0		カンファレンスの際は、保護者、訪問先施設、関係者（行政担当者など）を交えて内容を共有しています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	2	0	1		今年度訪問先施設での研修や学習会はやっていませんが、家での関わり方等については、資料を使って情報提供させていただいています。今後ニーズに合わせた学習の機会を作っていきます。
	15 必要などきにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	5	0	0	0		状況に応じて、電話でご相談を受けることもあり。引き続きお子さんを真ん中に、共通理解を図っていきます。
保護者 への 説明等	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	0	0	0		家庭訪問、訪問先施設での面談、相談を今後も丁寧にっていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	5	0	0	0		今後も強みに着目しながら、支援方法を一緒に考えていきたいと思います。
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	0	0	0		引き続き、わかりやすい方法での説明に努めます。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	5	0	0	0		適宜こどもや保護者にとってわかりやすい視覚的なツール（イラスト、アプリ、書類など）を用いた丁寧なコミュニケーションに努めます。
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思えますか。	5	0	0	0		訪問支援のフィードバックを丁寧に、評価しながら、こどもも支援者も成功体験が得られる方法を一緒に考えていきます。
	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思えますか。	5	0	0	0		今後も訪問先施設の具体的なニーズを聞きながら進めていきます。

	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	5	0	0	0	引き続き、カンファレンスにて丁寧な共有に努めます。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	0	0	1	ホームページを皆さんに知っていただけるよう、説明や発信に努めます。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3	0	0	2	わからない、の回答が一定数ありました。個人情報の取扱いについて、丁寧な説明に努めていきます。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	3	0	0	2	非常時の対応について、皆様への周知の仕方を工夫していきます。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	0	0	2	訪問先施設のルールに則り行動します。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	5	0	0	0	訪問することで、少しでもお子さんが過ごしやすい、楽しく生活できるような支援を目指します。
	28	事業所の支援に満足していますか。	5	0	0	0	ご本人、ご家族、訪問先施設の皆さんが本来の力を発揮し、今後に活かせるよう奔走します。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和7年3月31日

蓮の音こども園

利用児童数

回収数 6件

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	6	0	0	・実際にこどもを見て助言をいただいたため、より効果的な支援方法を聞くことができた。 ・わかりやすく取り入れやすかった。	実際に支援をしている先生方からお子さんの様子を聞き、何に困っていてどうするのよいか、先生方が取り入れやすい方法を一緒に考える、ということを大切にしています。実際に試してうまくいかないことも、マッチしないこともあると思います。その際は一緒に分析しながら次の手立てを共に考えていきたいと思えます。
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	6	0	0	・対象児だけでなく、クラス全体が良くなる支援方法を教えていただき、実行してみると困り感が減った。 ・新たに知った支援方法があり勉強になった。 ・納得できた。 ・満足している。	お子さんも先生方も安心して楽になる手立てを提案できるよう、発達支援の理解とインクルーシブの推進に努めて参ります。
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	6	0	0	・その場でわからないことも、後日ファックスなどで丁寧に教えてもらいありがたかった。 ・保育中に質問した時も、丁寧にわかりやすく教えていただきとても参考になった。 ・その時のこどもの様子に合ったアドバイスをもらえた。	引き続き、現場の先生方との情報共有を密に行いながら、タイムリーな対応に努めます。
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	6	0	0	・回数を重ねるたびに、対象児の成長が見られ、困りごとは解消された。 ・軽減された。 ・軽減されたかは難しいが、共通認識を持って、心が軽くなった。 ・軽減されたが、成長とともに新たな課題が出てきた。	課題がすぐに解決されない場合もあると想定していますが、現在課題となっていること、今後の目標とそのための方針のステップ、その具体的な支援方法を丁寧に共有することで、見直しを持って支援ができるよう、一緒に考えていきます。
5 事業所からの支援に満足していますか。	6	0	0	・保護者の表情も明るくなり、園での子の姿も日に日に成長が感じられた。訪問支援を受けてよかった。 ・満足しています。 ・月1回訪問していただきありがたかった。	今後も、先生方と連携しながら、「地域の中で育つ」ことを支援していきます。今後も忌憚ないご意見をいただけますと幸いです。
その他のご意見	ご意見を踏まえた対応				
<ul style="list-style-type: none"> ・対象児のための環境設定や、関わり方を具体的に教えていただき、成長が大きく見られた。 ・カンファレンスでのアドバイスが的確で、保育の参考になった。 ・日々の保育で一人ひとりのお子さんとゆっくり向き合うことができないため、保育を振り返る良い機会となった。 ・こどもや私たちに寄り添っていただき、受け止めてもらえたことで、不安に思うことも解消された。 ・実践に繋がる良いアドバイスをいただきありがとうございました。職員皆が参考になる助言をもらえた。 ・保護者を交えたカンファレンスのため、互いに共通認識を持ちやすく、保護者の思いも聞けて良い場となった。 ・対象児だけでなく、他の子も含めた支援など細かなところにも気付いて下さり、助かった場面が沢山あった。 ・困りごとの解決策と一緒に考えて下さり、ありがたかった。 ・こまめに様子をみていただき、丁寧に助言をいただいたので、園としての学びが多かった。 	<p>肯定的なご意見をたくさんいただき、ありがとうございました。受け入れ先機関の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。</p> <p>引き続き、訪問支援を行った後は、ご家族と訪問先施設とカンファレンスを行い、生活場面での本人の思いや実際の対応を話し合い、PDCAサイクルを繰り返しながら、支援をして参ります。また、発達支援の理解が浸透することで、対象児以外のお子さんもわかりやすく、過ごしやすいと考えます。今後も、インクルージョンを進めていくために、地域の保育所等の先生方や行政、関係機関と連携し、地域ですぐすこもたちにとってわかりやすく心地よい場所を広げていけるよう、努めて参ります。</p>				